



県内では、宇部市と阿武町が公費助成を実施しています。全国では、281自治体（14.8%）が実施しています。

带状疱疹ワクチンの費用助成を！

町 長

情報収集を行いながら検討したい。

問 高齢化が進んでいる本町では、带状疱疹に罹患する町民が、増えているようです。

70歳以上では、1,000人あたり10人以上の発生頻度となり、今後、益々患者の増加が予想されます。

予防策として、带状疱疹ワクチンの接種がしやすいよう、接種費用の助成が実施できないか、見解を伺います。

答 带状疱疹ワクチンは、任意予防接種^{※1}ですが、現在、国の厚生科学審議会において、定期予防接種^{※2}として位置付けるべきか検討されています。

その動向を注視し、また他の自治体の状況についても、情報収集を行いながら検討してまいります。

※1 任意予防接種：
希望者が各自で受ける。自己負担。

※2 定期予防接種：
法律に基づいて市区町村が主体となって実施する。公費（一部自己負担あり）



合併処理浄化槽の維持管理に関する補助金制度の検討は、12月までにある程度の方向性を！

下水道事業の公平な施策について検討した結果は？

町 長

浄化槽適正管理推進補助金をスタート。

問 以前、下水道事業について質問をした際、「合併処理浄化槽を使用している方の不公平感があることは十分認識しており、維持管理費の助成等検討していきたい」との答弁でしたがその結果は？

答 今年度から浄化槽適正管理推進補助金をスタートさせましたが、これらの制度で十分とは言えず、引き続き集合処理・汚水処理の普及率の動向に注視しながら検討を進めていきます。

（電力自由化に関する提言）
遊休地や遊休施設を精査し、再度、町が電気事業者となる検討を！

（入札制度に関する提言）
指名業者の拡充と予定価格の公表を行い、談合等を防ぐ制度の検討を！



脱炭素を単なる環境政策と捉えるのではなく、地域課題解決につながる事業展開を！

本町らしい脱炭素社会の実現を目指しては？

町 長

全庁的に取り組みを加速していく。

問 世界規模で脱炭素の取り組みが進みますが、本町らしい手触り感のある取り組みにより、地球温暖化防止だけでなく地球課題の解決にもつながると考えます。町が行ってきた地球温暖化対策の実績、評価を伺います。

また、「ゼロカーボンシティ宣言」や環境省が進める「脱炭素先行地域」に具体的施策を持って登録を目指してはいかがでしょうか？

答 これまで、公共施設での節電やカーボンニュートラルガス（別の環境取り組みによりガスのCO₂を相殺）の導入、公用車のエコカー導入、ゴミの3R（削減、再利用、再資源化）推進、地球温暖化防止推進員（町民）による啓発活動を行ってきました。近い将来ゼロカーボンシティ宣言を行うことを目標として、脱炭素に資する具体的な施策を全庁的に検討し、脱炭素先行地域への提案につなげていきたい。